



写真・阿部高嗣 暑い日のぼく

読む人の
幸せを
心に願って
作る

喜びの タネまき 新聞 no.547

チャレンジすること

私も日々仕事をしていく中で悩んだり、壁にぶつかったりすることが必ず出てきます。しかし、「越えられない壁はない」と思うようにしています。

私の場合、「無理かもしれない」との気持ちから壁を感じることも多く、その時に「ちょっと待った！これは成長のチャンスだ」と気持ちを前向きに切り替えて乗り越えるよう自分に言い聞かせ

ています。

ダスキンはこの五十年間に数々の事業や商品を手がけてきました。モップやマットのレンタル事業をはじめミスタードーナツなど多くのお客様にご愛用いただいている事業もありますが、チャレンジして新たに事業を始めたもののお客様の期待に応えることができず撤退した事業も多くあります。

世の中の多くの会社は様々なことにチャレンジし、多くの失敗を重ねて現在の姿があります。成長していくためには失敗にも屈せ

ず常に前向きにチャレンジすることが大切です。

チャレンジすることは仕事だけでなく日常の生活にも多くあり人生は壁の連続だと思っています。小さな出来事や大きなことなどあらゆる出来事に触れ悩むことはありますが、生きていく上で壁は成長の機会と捉えこれからも前向きにチャレンジし続けていきたいと思っています。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

近頃、どうも忘れっぽいなんてこと、ありますか？
ぼくの場合、50代あたりから怪しくなりましたが…。

「ちかごろ」

記憶力は人並みにあったつもりだ。年号も名前も、滅多に忘れたことがなかったのに、「あのひとの名前」がすぐに出てこない。たくさんさんの人が来てくださる個展のときはたいへん。「どうも、ごぶさたします」お洒落な差し入れをご丁寧にいただく。「えーと、何さんだっけ？」にこやかに平静を装いつつ、「あいうえお…」と唱えながら名前のきっかけを密かに探している。

友人は「一気に来るんだから、そんなの当たり前だよ」と気にも留めないが、すぐに出てこない、やつぱり申し訳なさが残る。

記憶力は加齢による衰えばかりでもないらしいが、理由は何にせよ思い出せないままは気持ちが落ち着かない。先日、ある地名が思い出せなかった。「ここであきらめてはいけない」とキーワードを探す。「そうだ、温泉だ」。だが、そのなんとか温泉で止まっちゃった。

脳の海馬は記憶を司っていると
ころだが「もつと脳を柔軟に使わないとね」そう言い聞かせ、ふた



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。
絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和み温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載の最多記録を更新中。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

たび「うーん」と腕組み。まるで謎解きをするように粘ること10分

位だろうか、ついに温泉名を思い出した。些細なことだけど、これがなんともうれしかった。

友人にめつぼう記憶力のいいのがある。とくに数字の記憶がすごい。

相当数の電話番号はもちろん、誕生日、出来事の年月日など、スラスラ言う。自信たっぷりと言うものだから、間違っているかわからないほどだ。その記憶力の鬼が

「えーと、何年だっけ」と寂しそうにぼつりと言った。

周りを見渡せば、友人たちはみんな60歳前後になっている。会えば「あーだ、こーだ」と、あやふやな会話になるが、最後は思い出せないことも全員一致で答えを見つけない。大笑いしながら、海馬にもいい刺激になっているようだ。それにして子どももの頃や、旅先のひと、好きな歌は不思議なほど忘れない。

素朴なおいしさ「抹茶小豆蒸しパン」

オーブンでなくフライパンで作ります。型もスूप皿、ゆで小豆も缶詰めでOK！
はちみつと練乳の上品な甘さに抹茶のほのかな苦味が加わった
しっとりした食感の蒸しパンです。



お料理研究家 こいけりえ

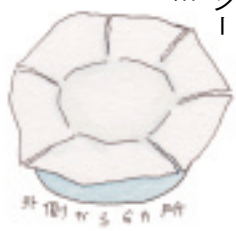
おやつの時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



●作り方(6人分)
●型を皿とシートで作る
スूप皿のサイズに合わせてクッキングシートを切る。皿は直径20cm、それに合わせてシートは幅30cmのサイズを使います。正方形に切ったシートを皿の上にのせ、円形になるようにシートの四隅を切り落としておく。この円形シートをさらに縦に6カ所切り込みをいれておく。

●生地を作って型に入れる
薄力粉100g、ベーキングパウダー小さじ1と2分の1、抹茶15gをふるいに入れてこす。別のボウルに卵1個を割り入れたら、牛乳はちみつ各大さじ2、練乳大さじ1、砂糖大さじ3を入れてよく混ぜ合わせ、最後にサラダ油大さじ1を加えて泡だて器でしっかり混ぜ合わせる。

ここへ、こした粉を入れ、粉っぽさがなくなるまでゴムべらでよく混ぜ合わせる。最後にゆで小豆大さじ3を加えて、今度はざっくりと混ぜ合わせる。



シートを敷いたスूप皿に真ん中から混ぜ合わせた生地を流し入れる。入れる時、シートが動きやすいので必ず中心から入れる。

●フライパンで焼く

直径26×28cmのフライパンにお皿ごと型を入れて、皿の約半分の高さまでお湯を静かに流し入れる。弱火にかけたらフタをして35分蒸し焼きにする。その後フタを取って5分焼く。中心に竹串を刺して、生の生地が付かなければ蒸し上がり。

生地の中には火が通りにくいので、なかなか蒸し上がらない時には、フライパンから皿ごと取り出し、ラップをかけて電子レンジで1分ほど加熱してもよい。その場合お皿が熱いのでやけどには気をつけてください。

●仕上げ

皿を取り出し、たら粗熱を取り、クッキングシートをはがして食べやすいサイズに切り分けます。



みてもらおう！

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。



「いい亀でしょ♪」
埼玉県毛呂山町
小林延代



お顔がまん丸。
栃木県佐野市
八重樫文



お昼寝タイム。
さすが兄弟でそっくり！
熊本県上天草市 竹崎薫

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！
(詳細は7ページ)



今日もいい天気！浜の仲間達と。

小西さんは時化ない限り、毎日、海に出る。3艘の船はワカメ用、ヒラメなどの魚用、タコ用で、いつもは2艘で出るそうだ。

「長男と一緒に。船にはもう1人乗るの。操船もわたしがするけど、見せようか？」

小西さんはそう言うのと、すぐに漁港から海へ。海が光つて、姿勢がシャンとして圧倒的な存在感。陸では周りへの目配りもさらりと温かい。「セイちゃん」と小西さんが呼びかけたのはお隣の船。浜で釜揚げシラスを干していたセイジさんは、人懐っこい笑顔で寄つてきて、出来たてのシラスを味見させてくれた。

「うめえべ？」

シラスの魚体に柔らかい張りがあつて、薄塩であつさり。「こっちはアオリイカ。甘いよ！」と獲れたての刺身も大皿にいっぱい。まわりの男性陣が「どう、ビール？」と言いつつ、午前中のひと仕事の後で休憩タイムだ。

「男性陣は作業の手伝い。5、6人いて漁師さんじゃないけど、陸で待つてくれる人」

じきに、なにかと手伝ってくれる自営業のご主人も来て、小西弘子さんはほんとうに紅一点。高1と小6のお子さんも息子だ。

だが、女性だから人気者なのではない。実力は、修業時代も含め、足かけ10年のベテラン。漁師の親方の手伝いを始めた頃は小坪漁港に女性漁師は1人もいなくて、意識や慣習の壁もあった。



気っ風が良くて明るい逗子港の人達。



人手がいる作業は互いに手伝うそうです。



陸のみんなと談笑タイム。

“女船長をよろしく！”と浜の男性陣

小西弘子さん(40歳)
神奈川県小坪漁港



海の近くで育ち、海が大好き。
好きな漁師になりたいと
親方のもとで習い、今は3艘の船を持つ
女性の船長をお訪ねしました。
颯爽としてカッコいいお母さんです。



他所で夫婦で船に乗る話は聞くが、女性は陸の受け手が多く、女性船長は珍しい。小西さんは無償で6年間修業して、親方が病気で漁師を廃業する時に船を譲り受けて独立したという。「女船長、頑張ってるからさ！」という敬意をこめた声が回りから上がる小西さんである。

もともと小坪漁港の近くで育ち、マリンスポーツが趣味になったのは自然な成り行き。サーフィンに凝ったという。長男は3歳で船に乗り、5歳で釣りをしたそうで、今はサーフィンも、冬になるとスノーボードもほぼプロ級。

「漁から帰ると昼頃だけど、わたしは休まずに洗濯しに家に行ったりすることも。家事もあるしね」お母さん役と妻役をこなし、時間も見事にやりくりする主婦なのだ。

こうした小西さんに憧れ、若い女性がただ今、漁師見習い中。伺った日は家の用事でお休みのため会えなかったが、

「ほら、わたし達、主婦でしょ」と笑った。

人が良くて自由で……。ふと回りを見たら、ご近所のおばさんが、地タコ買いがてら、ビール片手に一緒に立ち話。いい漁港です！

お盆



岩手県盛岡市 高橋龍児

お盆に、長男次男、そして孫が帰ってきました。3歳の男の子です。

わが家のお盆では、お寺の山門の前で虫取り網を持って立ち、虫取りカゴを首からさげて、麦わら帽子で写真を撮ることを毎年の習わしにしています。ところが孫は、ボーズをとる前にお寺の地面をいじくり、セミの抜けがらやミミズをとって走り回ります。ようやくつかまえて、1枚撮りました。

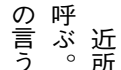
迎え盆は、孫のひいじちゃん、ひいばあちゃんが迎え火を目印に帰って来る日です。孫のほっぺをやさしくなでてから、仏壇へ入っていったような気がしました。

孫は、トウモロコシを食べながら花火を楽しんでいます。この日は、ほかに予定を入れません。1年で一番楽しい日なのです。

みんなが帰ってくる懐かしい音です。

手をつなごう

北海道帯広市 伊藤昭子



近所に住む3歳の、ゆう君は、私を「ばあ」と呼ぶ。単語をいくつか話せるだけだが、こちらの言うことは驚くほど理解してくれる。

先日、散歩中に、歩くのが速くなったことを褒めると、つないでいた手をふりほどき、得意満面でどんどん先へ。「危ないから手をつなごう」と言っても聞いてくれないので、作戦変更。「ばあは疲れて歩けないよー。ゆう君、手を引いてくれないかなー」とすると、ゆう君はスタスタ戻ってきて手をつないでくれた。嬉しくなって、ゆう君のママにメールをした。

数日後、散歩に出かけようと玄関を出たら、すぐにゆう君が私の手を握ってきた。手をつなぐのではなく、手を引いてあげるといったふう。半歩先を、騎士のように得意げに行くのです。成長が楽しみです。

手をつなぐと安心と楽しさがやってきます。



黄色いカサ

茨城県茨城町 西連寺元子

高校生の頃の話です。朝は雨が降っていなかったのに帰りは雨。カサは持っていないでした。いつものバス停から家までは1キロ足らずですが、雨は本降りです。

ぬれるのを覚悟でバスを降りると、同じバスに乗っていた近所の小学生が、黄色いカサをそつとさしかけてくれました。

口数も少なく歩いていると、彼女の左肩は雨粒でびしょぬれ。私の右肩もびしょぬれ。申し訳なくて、なるべく寄り添って歩きました。私の家の前で、お礼を言っただけでした。家の中に入って、すぐに家族に、その話をしたのを覚えています。後日、母はお礼を持って彼女の家を訪ねてくれたようでした。

あの時の彼女は今頃どうしているでしょう。

小さなカサに二人で……。ありがとう。



メールデビュー

大分県臼杵市 吉田陽子

前から勧められていた携帯メール。特に必要を感じずやっていた携帯メール。特に必要を感じずやっていた携帯メール。特に必要を感じずやっていた携帯メール。

「ねえ、ばあば、メール始めようよー楽しいよ。いつでもどこでも簡単に出来るよ。私が教えてあげるからー」孫娘の言葉で一念発起。その場ですぐに30分の特訓を受けました。思っていたよりも簡単で、写真、テンプレートの画像、絵文字の利用方法など楽しいことも教えてくれました。

毎年夏休みの1週間のみ一緒に過ごす次男一家の孫ですが、昨夏は私に新しい楽しみをプレゼントしてくれました。

自宅に着く頃に早速メールをすると、返信は「上手になりましたね」でした。

孫たちの成長に負けないように、これからもパソコン、デジカメ、携帯電話を使って、まだまだ現役で頑張るつもりです。

今年はずっと上手になりましたか？

孫の一撃

山形県長井市 川村ヨシ子



8月の蒸し暑い夜、小学1年生の孫が、「今日はバアバと寝ていい？」と一緒に寝ることに。布団の中で、孫に尋ねられました。

「バアバが1年生の時にジジジは何年生？」「バアバが1年生の時はジジジは6年生だよ」

「エー！そんなに若い時に結婚したの。ボクも結婚しようかな」と孫は目を丸くして言うので、可笑しくって、「それじゃ、バアバと結婚しよう」と私。すると「天国のジジジに怒られるよ」と孫。「ゆう君ならジジジは許してくれるよ」とまた私が言うのと、孫は「瞬考えて言いました」

「もつとキレイな人を探すからいいよ！」暑さも忘れてしまうくらい大笑いした、夏の夜の孫との会話です。

暑さを吹く飛ばすアハハ



残りは

秋田県横手市 高橋奈緒子

3歳の娘と梨を食べた日のことです。私と娘は先に食べたので、残りの梨をとなりの部屋にいた主人にもあげようと思い、「残りはパパの分だから、食べて、って置いてきて」と娘にお願いしました。

娘は、とっても嬉しそうに主人のところへ、梨を持って行って、一言。

「残りはパパとワタシの分だつて。ママが言ってたよー！」

「!!」主人と私は大笑い。「エヘッ」娘も笑いながら、しっかりと梨をほおばっていました。

かわいいウンも成長の証ですね。恐るべし、3歳の知恵！

うーん、なかなか！

ひ孫と、ひいばあちゃん。笑顔で会話。



宮城県大郷町 阿部みつえ

あなたのお便りや写真をお寄せください

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先 〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号) ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室 電話 03(5909)6703 e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

no.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます http://www.duskin.co.jp/tanemaki/

4-5ページの小坪漁港の連絡先

〒249-0008 神奈川県逗子市小坪5-20-4 小坪漁業協同組合 TEL:0467-24-3721

全力をつくして 人間は、一羽のスズメも生む事は出来ないが、感謝をして、働く事が出来る。やる気になってやる事、実行こそが大切だ！あまりにも世の中が、かわしすぎると思いませんか？さりとして、「いやでございます」といって逃げて暮せる訳ではありません。不幸と不満となやみと苦しみの現場に、とりこになっているとしたら、ゼロから出発して、働く事だ！

鈴木清一

愛の輪からのコラム あいろうわ ふれあいから生まれた“言葉”たち

仲間がいるから輝ける。仲間がいるから夢中になれる。

これは、愛の輪アジア障害者リーダーを受け入れている平下耕三さんの言葉です。ご自身と同じように、障がいのある人が堂々と自分らしく生きることとを応援したいという想いから、電力も充分でなく、安全な水も少ないアジアからの研修生を積極的に受け入れておられます。自立生活センターの仲間と、生活習慣や文化もまったく違う研修生に、熱い想いで仲間づくりの大切さを教えてくださっています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎ 06-6821-5270 HP http://www.ainowa.jp/ 愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。

ダスキンのレンタルオールは
イベント用品のレンタル、
設営や企画も
お任せいただけます!

近年ニーズが高まっているイベント
用品のレンタル。ダスキンのレンタルオール
では、お祭りや式典、マラソン大会
や展示会など多種多様なイベント
を企画からお手伝い。用品のレン
タルや設営、運営などイベントを全
面的にサポートしています。



やべうや
音響などで
本格的に
演出!

あなたの**声**が原点です。
私たちは、そのお声とともに歩みつづけます。

ダスキンが大切にしたいのは、あなたの声——。
ぜひ、あなたの想いをお聞かせください。

お客様の声はインターネットにて承っております。

ダスキンお客様の声

検索

www.duskin.jp/voice

今号のキーワード

イ ベ ン ト

ハガキに書いてご応募ください!



「くらしキレイBOX」を
プレゼント!



抽選で
100
名様に

- 油汚れ用洗剤 ベリーの香り ●ガラス用洗剤
- カビ取り剤 ●ハローキティのエコポンジ
- おそうじクロス(パープル)
- くらしキレイBOX 100%活用Book

©1976, 2014 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. G550244

下記の要領でご応募ください。

●ハガキに

- ①今号のキーワード ②郵便番号 ③住所 ④氏名
 - ⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名
 - ⑨この新聞内で好きなコーナー
- をご記入の上、下記であて先までお送りください。

●応募専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。

〒163-0265

住所は不要です。

(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.547」プレゼント係

- 締め切り 平成26年10月3日(金)当日消印有効
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成26年10月中旬お届け予定)
- 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。
※ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」プレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただきます場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp

●この新聞をお届けしているのは